

1 学校の教育目標

(1) 教育目標

- 一、 進んで学ぶ人
- 一、 心身ともに健やかな人
- ◎ 一、 自ら行動する人

教育目標の「自ら行動する人」を重点項目とし、生徒の主体性を発揮させ、自治能力を高め、これからの時代を強く生き抜くことのできる生徒の育成を目指す。

(2) 目標達成の基本方針

生徒のもつ「やる気」と「可能性」を引き出し、それを伸ばすことにより「貢献する学校」を創造する。そのために、次の5つの基本方針に基づき教育活動を推進する。

- ア 「東京都人権施策推進指針」に基づき人権教育を推進し、人権教育に理念啓発を図り、人権感覚を涵養し、社会に貢献しようとする精神を育む。
- イ 生徒が主体的・意欲的に取り組む特別活動を充実させ、社会貢献活動を通して地域社会の一員として、より良い生活や人間関係を築こうとする態度を育成する。
- ウ 生徒理解に努め、教育相談活動を充実させ、生徒と保護者との信頼関係を構築し、個に応じた指導を展開する。
- エ 地域人材や1人1台専用タブレット端末を効果的に活用し、家庭学習を含めた学習習慣の定着を図り、主体的に学習に取り組む態度を育む。
- オ 全教育活動を通して、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し「たくましく生き抜くための心と身体」を育成する。

2 指導の重点

(1) 各教科等（各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動）

ア 各教科

- ① 授業の受け方、予習・復習の方法、定期考査に向けての学習方法などを「学習ハンドブック」によって年度当初に示し、計画的な家庭学習の習慣化など学び方の指導を徹底する。
- ② 3観点の評価場面・評価材料・評価規準・評価基準を明確にし、評価・評定の透明性・信頼性を高め、生徒の学習意欲向上を図る。
- ③ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、各教科の年間指導計画に毎学期1回以上の「協働的な問題解決学習」を位置付ける。
- ④ 1人1台専用タブレット端末を活用し、個に応じた指導や探究的な学習活動を取り入れた授業を行う。
- ⑤ 学校司書との連携を強化し、学校図書館を読書指導や学習指導のキーステーションとし、授業での活用を促進する。
- ⑥ 全身持久力の向上のために、「持久力向上トライアル月間」を実施する。個人目標を設定させ、個に応じたペースや回数で、主体的に体力向上を目指す態度を育成する。

イ 特別の教科 道徳

- ① 道徳教育の中で、豊かな人権感覚と生命を尊重する意識の育成を図る。そのために全ての教育活動において、いじめを初めとした倫理的な問題を意識し、道徳的諸価値に基づく判断力や心情、実践意欲と態度を育て、将来にわたって良好な人間関係を築くことができる能力を身に付けさせる。
- ② 道徳教育推進教師を中心に指導体制を整え、考え議論する活動や体験的な学習などを採り入れ、指導方法や評価についての工夫・改善を進める。

- ③ 「道徳授業地区公開講座」や「いのちの教育月間」を充実し、家庭や地域社会と協働を進めることによる「心の教育」を推進する。
- ④ 日常生活における道徳的実践の指導を行う場面（家庭・地域・特別活動・総合的な学習の時間）と関連付けた道徳の授業を学期に1回以上計画し、多様な実社会と生徒の考えの違いを受け入れる機会を設ける。

ウ 総合的な学習の時間

義務教育9年間のまとめとして「自己の生き方を考え、他者とより良い人間関係を築き、地域に貢献する生徒」を育成するために、『すぎなみ9年カリキュラム（総合的な学び編）』を活用し、各教科などで身に付けた知識・技能・学習方法などを基に探究的な学習活動を行う。

- ① 第1学年での「高校・専修学校・企業体験授業」と関連付けて義務教育修了後の自分の生き方、社会との関わり方について取材活動を中心とした探究的な活動を実施する。第2学年において、職場体験を実施し、深く自分自身を見つめさせ、勤労観及び自己有用感を育てる。
- ② 全学年を通して「SDGs」について探究的な活動を実施し、自ら課題を見つけ、諸課題の解決のために具体的な手だてや他者との協働的な活動を、発達段階に応じて積み重ね、生涯にわたって学び続ける意欲と態度を育む。
- ③ 地域の高齢者施設の環境整備や地域清掃などの社会貢献活動に全学年で積極的に取り組む。

エ 特別活動

- ① 学年・学級の活動や生徒会活動、学校行事などを通して、生徒一人ひとりが社会の一員であることを自覚させ、より良い人間関係を築き、いじめ防止や社会規範などについての自律的な意識を高めさせる。また、「自ら行動する人」の具現化に向け、様々な活動を通して感動や達成感を体感させ、主体的に行動する力を育成する。
- ② 生徒会活動（役員会・評議会・委員会活動）の活性化を図り、全校体制で取り組み、小学校との連携を推進し、ボランティア活動を充実させ、「貢献する学校」の具現化を目指す。
- ③ 学校行事（運動会、合唱コンクール、宿泊行事）の生徒実行委員会による取り組みを活性化し、生徒中心で運営できる能力を身に付けさせる。

（2）その他の教育活動

ア 生活指導

- ① 規範意識を高め、規則正しい生活習慣を身に付けさせるために、「あいさつ」の指導を徹底するとともに、生徒の指導について保護者・関係機関との連携を図りながら、全校体制で取り組む。
- ② いじめ対応マニュアル及びいじめ防止基本方針に基づき、いじめの根絶と早期発見・解決のために、6月と9月に「いのちと心の教育月間」を設けるとともに道徳などと密接な関連を図り、生命尊重の心を育てる教育を推進する。また、本校のソーシャルメディアガイドラインを基に、保護者と共にネットトラブルなどの防止に努める。
- ③ 1学期終業式後・2学期終業式後に面談を実施し、生徒理解、教育相談の充実を図り、生徒の教師への信頼関係に基づく生活指導を心がける。また、不登校生徒に関してはスクールカウンセラーや関係機関と連携し、様々な心の悩みをもつ生徒の指導・支援を行う。不登校生徒・保護者が孤立しないよう、学校と良好な関係を築けるような働きかけを検討し実施する。

イ 安全指導

- ① 学校安全計画に基づき、全ての教育活動に優先して安全に関わる指導を行うことで、危険を予測し、それを回避するための判断力や安全な生活を送るための意識や態度を育てる。
- ② 避難訓練や第3学年の普通救命講習の実施、安全指導では冊子「東京防災」を活用し、より身近に災害を感じさせることにより、将来にわたる安全意識を育てる。
- ③ セーフティー教室・インターネット安全教室については、外部講師を招き、喫煙、飲酒、

薬物乱用などの有害性や違法性をより具体的に理解させ、情報モラルを身に付けさせる。また、携帯電話などの適正な利用を促すことにより、将来にわたって心身ともに健全な生活を送る意識と態度を身に付けさせる。

ウ キャリア教育

- ① 道徳や総合的な学習の時間との関連を図った系統的なキャリア教育を計画し、「進路」に関する正しい認識と理解を深め、生徒一人ひとりが主体的で適切な進路を選択・決定する力を育てる。
- ② ゲストティーチャーや外部プログラムを活用し、多様な生き方や考え方を知らせ、自らの進路を積極的に切り拓いていく力や将来の生き方を考える意欲や態度を育てる。
- ③ 「キャリア・パスポート」を活用し、学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善などを促す。

エ 特別支援教育

- ① 特別支援教室、授業における個別指導の定着に向け、全教員が特別支援教育への理解を深め、障害の状態に応じた適切な指導・支援ができる体制を確立する。また、全ての生徒に対して発達障害や特別支援教室・授業における個別指導の理解啓発を図る。
- ② 教育相談など、様々な機会を通して、生徒一人ひとりの課題を把握し、特別な支援を必要とする生徒を全教員が理解して指導する体制をより一層充実させる。
- ③ 特別支援教育コーディネーターを中心とした生徒理解会議を効果的に活用するとともに、巡回指導教員・巡回相談心理士との連携を適切に図る。また、学校生活支援シートと関連させた個別指導計画を作成し、生徒の特性に応じて適切に指導する組織的な学校体制を充実する。
- ④ 家庭や有識者・関係諸機関と密接に連携を図るとともに学習支援教員を有効に活用し、より効果的な指導に取り組む。
- ⑤ 副籍校との連携をし、直接または間接交流を図るとともに、保護者会等の機会を活用して特別支援教育の考え方や本校の取組について発信し、特別支援教育に関する啓発を推進する。

3 学年別授業日数及び授業時数の配当

(1) 年間授業日数配当表

月 学年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
1	17	20	23	15	3	21	20	21	15	17	20	17	209
2	17	20	23	15	3	21	20	21	15	17	20	17	209
3	18	20	23	15	3	21	20	21	15	17	20	13	206
土曜授業	1回	1回	1回	1回	0回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	11回
振替休業	×	×	×	×		×	○	×	×	×	×	○	2回
備 考	開校記念日		1 0 月 2 0 日		授業日		都民の日		1 0 月 1 日		休業日		
	第 3 学年は入学式に参加、3 月 1 7 日が卒業式のため合計授業日数 3 日減。												

(2) 年間授業時数配当表

領 域 \ 年		1	2	3
各 教 科	国 語	146	145	107
	社 会	110	110	143
	数 学	145	110	143
	理 科	110	145	142
	音 楽	53	40	37
	美 術	50	40	37
	保 健 体 育	110	110	107
	技 術 ・ 家 庭	75	75	37
	外 国 語（英語）	145	145	142
	小 計	944	920	895
	特 別 の 教 科 道 徳	37	36	36
	総 合 的 な 学 習 の 時 間	51	72	70
	特 別 活 動（学級活動）	36	37	35
	総 計	1068	1065	1036
備 考	授業時数の1単位時間は、50分とする。			